20210317ver.

東京家政大学

TOKYO KASEI UNIVERSITY

メディア授業
受講マニュアル

学生編

■ index

はじめに

1. 時間を有効活用し学修ペースを
2. メディア授業とは
3. メディア授業で活用する情報システム
4. オンライン授業の種類
   ①オンデマンド型
   ②リアルタイム配信型（同時双方向型）
   ③リアルタイム配信型（一方向型）
5. 事前準備機材
6. インターネット環境
7. 受講のためのアクセス
8. エントランス　manabaのコース画面
9. 出席確認方法
10. 課題の提出方法
11. メディア授業受講のための心構え
    ①メディア授業は双方向的主体的
    ②学修ペースの計画を立てる
    ③連絡方法
    ④注意すべき事項
    ⑤リアルタイム授業でのエチケット
    ⑥健康に留意する
12. 授業ツール　GoogleDrive
13. 授業ツール　YouTube
14. 授業ツール　webex　webex参加方法
15. リアルタイム授業時の注意
16. 著作権に関する注意事項
17. 図書館について
18. Q&A
19. チェックリスト

はじめに

- 令和3年度の本学の授業科目は，一部の科目を除き基本的には対面での実施で時間割を構成します。
- しかしながら，昨年と同様にCOVID-19対策のため対面形式の授業の一部について，インターネットを利用して行う必要があります。
- 一方新たな授業形態として，インターネットを利用したメディア授業として設定された科目も開始されます。
- このように様々な形態でインターネットを利用した授業が行われ，それぞれの位置付けや内容は異なりますが，メディアを活用した授業を受講する際には，本マニュアルを参照してください。
- なお，令和2年度は「オンライン授業」としていましたが、令和3年度は「メディア授業」と表記を改めました。

1　Positive thinkingを

- メディア授業は，通常の対面授業とは異なる環境で受講することになります。
- 情報機器を操作して受講することになりますが，学生の皆さんに急に高度な要求を求めるものではありません。
- 例えば，オンデマンドタイプの授業であれば，対面では聴き逃してしまったり，解説が難しい内容でも，何度も繰り返して理解を深めたり，自分で受講時間をスケジュールして，能動的に学修に取り組むことで，対面授業とは違った効果が期待できます。
- また，リアルタイムタイプの双方向授業では，PC画面上で講義に参加することで，より内容を理解することもできます。チャット機能を用いれば，普段の教室での受講よりも円滑なコミュニケーションを図れることもあります。
- メディア授業への不安や，使い慣れないWeb機材使用のストレスもあるかと思いますが，まずはできることから取り組んでみましょう。
- 初めて受講する場合は，様々なトラブルも起こるかも知れませんが，課題受け取りや提出，リアルタイム授業でのトラブルなどに，各教員も十分に配慮し，皆さんに対応します。
- メディア授業には対面授業とは違う良さがあるというポジティブな考えを持って，web上での実りのある授業を共に創造していきましょう。

2　メディア授業とは

・メディア授業とは，複数のメディア（文字，音声，映像など）を一体的に用いて実施される授業であり，受講者はインターネットに接続されたパソコン（デスクトップ型やノートPC)，タブレットPCなどで，提示された教材や授業動画や音声付スライド動画を視聴して課題に取り組んだり，リアルタイムに配信される画像・音声を視聴したり，参加してディスカッションするなどの方法によって受講するものです。

・本学のメディア授業は，**manaba**(クラウド型教育支援サービス)を全ての科目の入口として用います。授業によって，授業形態は様々ですが，皆さんは**manaba**の履修科目コースへログインして，各担当教員の授業方法の指示に従って，受講してください。

3　メディア授業で活用する情報システム

本学では，主に**manaba**を講義連絡，教材資料提示，課題提出等に用いるほか，授業タイプによって様々なメディア教育を支援するシステムツールを用います。

Entrance
授業の入り口

manabaのコースニュースに各授業の学修方法が指示されます。
受講方法指示　講義ニュース

manaba course

受講方法①
オンデマンド配信タイプ

Drive
Google Drive™
YouTube

受講方法②
リアルタイム配信タイプ

cisco
Webex Meetings
webex

課題提出

manaba course　respon

レポート　小テスト　アンケート　レスポン 等

個別指導

manaba course　manaba　個別指導コレクション

Gmail

学生同士の課外議論・交流支援ツール　Meet

講義内容に応じてこれらの複数のシステムを組み合わせる授業もあります。

4　メディア授業の種類

メディア授業の代表的なものは以下の３つのタイプに分類されます。

メディア授業の3タイプ	
①オンデマンド型メディア授業	ビデオカメラで収録した授業動画や音声付パワポスライド動画等を視聴して学ぶ授業
②リアルタイム配信型 同時双方向型のメディア授業	・教員と学生が，映像・音声等により，同時かつ双方向にやりとりを行う授業です。 学生が教員に質問をする機会を確保するなど，対面授業に近い環境で行われます。
③リアルタイム配信型 一方向型のメディア授業	・教員が，映像・音声等により，一方向で配信する授業です。 ・Chatや掲示板など学生が教員に質問をする機会が確保されます。

・各科目では，それぞれの授業の特性のよって，担当教員が授業方法を提示します。また，これらを組み合わせた複合的な授業となる場合もあります。
・R2年度には資料・課題提示型もありましたが、R3年度からのメディア授業には含まれません。
・R3年度のメディア授業は、オンデマンド型メディア授業を基本としますが、ゼミナールや一部の授業ではリアルタイプ配信型で行われますので、受講科目の授業方法を確認してください。

①オンデマンド型メディア授業

教員が**manaba**の履修科目コース内の【コースニュース】や【コンテンツ】に講義動画の配信場所を提示する

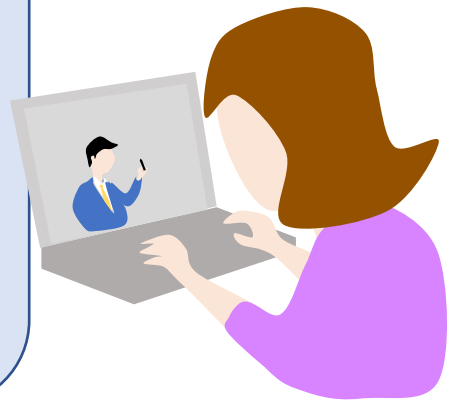
コースニュース　コンテンツ

履修者はGoogle Driveの動画やYouTube動画を視聴し，各自で学修

学修後，課題を実施し，**manaba**のレポート機能・アンケート機能等で提出

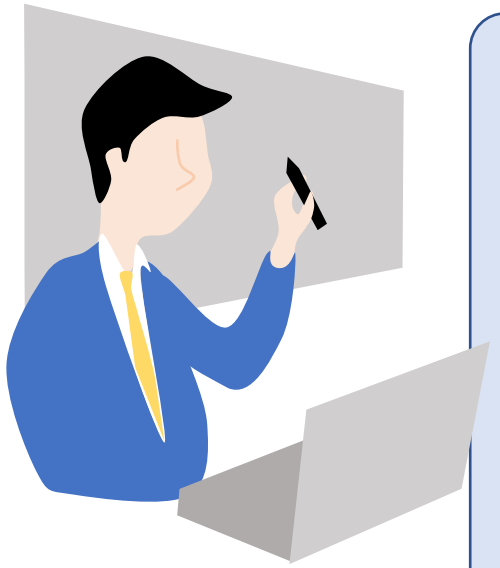
教員が課題を確認し，添削や採点を行い学生へフィードバック
レポートのコメント機能・個別指導コレクションで質疑応答

Drive
Google Drive™
YouTube



学生は必ずしも時間割通りの時間に学修する必要はありません。いつまでに内容を理解し，課題を提出すべきかは教員の指示があります。（一部は時間割通りの始業あり）
出席は，課題やリフレクションの提出をもって出席とするなど，教員が確認の方法を指示します。講義ビデオの内容に関する質問などは，e-mailあるいは個別指導コレクションを通じて行います。

②リアルタイム配信型同時双方向型のメディア授業



manaba 【コースニュース】に講義実施のwebexミーティングの配信場所と入室方法が提示される，またはwebexからの招待メールを受け取る

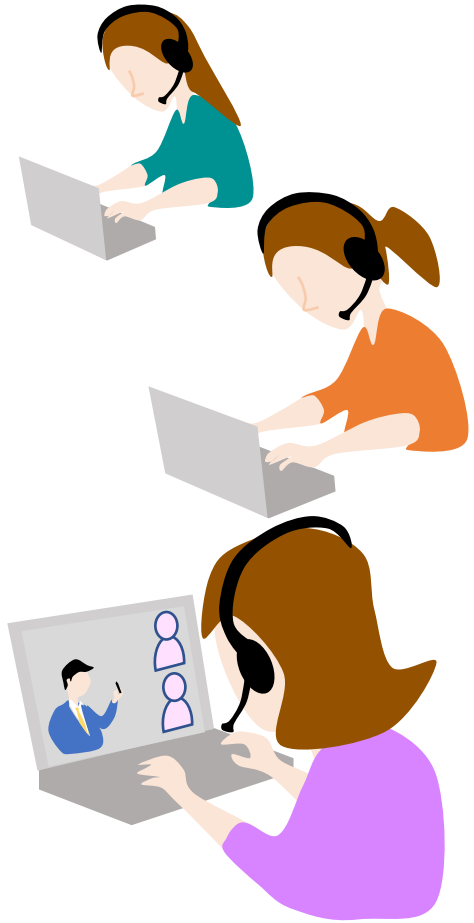
コースニュース　コンテンツ

講義資料はコース内の【コンテンツ】から確認
履修者はwebexにログインし，リアルタイム講義に参加

cisco Webex Meetings　respon

教員と学生が，映像・音声等により，同時かつ双方向にやりとりを行います。

教員が課題を確認し，添削や採点を行い履修者へフィードバック。
レポートのコメント機能・個別指導コレクションで質疑応答



学生は必ず時間割通りの時間に学修します。
出席は講義時間内にレスポン(manabaの機能)の利用や講義参加者ログをもとに行います。
講義中に発言やチャット(webexの機能)などにより学生は質問を教員へ行うことができます。

③リアルタイム配信型一方向型のメディア授業

manaba 【コースニュース】に講義実施のwebexミーティングの配信場所と入室方法が提示される，またはwebexからの招待メールを受け取る

コースニュース　コンテンツ

講義資料はコース内の【コンテンツ】から確認
履修者はwebexにログインし，リアルタイム講義に参加

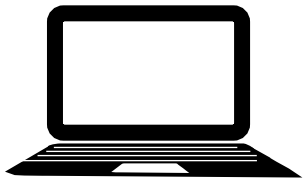
cisco Webex Meetings　respon

教員が，映像・音声等により，一方向で配信する授業です。
Chatや掲示板など学生が教員に質問をする機会が確保されます。

教員が課題を確認し，添削や採点を行い履修者へフィードバック。
レポートのコメント機能・個別指導コレクションで質疑応答

学生は必ず<u>時間割通りの時間に学修します。</u>
出席は講義時間内にレスポン(manabaの機能)の利用や講義参加者ログをもとに行います。
講義中にチャット(webexの機能)などにより学生は質問を教員へ行うことができます。

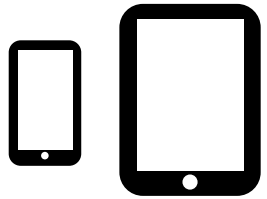
5　事前準備機材



メディア授業を受講するためにパソコン類などのメディア機器が必要となります。

- **パソコン　または，タブレットPC　（スマートフォン）**

　メディア授業では，パソコンやタブレットPCが必要となります。



- **ヘッドフォン（イヤホン），マイク，webカメラ**

　Webexでリアルタイムの授業を使用する場合に必要となります。一方向的型のメディア授業ではイヤホンでも良いですが，発言を求められる授業ではマイク付きヘッドフォンを推奨します。（PC内蔵マイクを使用するとハウリングを起こす恐れがあります。）受講者は原則カメラoffで良いとしていますが，状況によってはカメラをonにする必要がある場合があります。最近のノートパソコンやタブレットPCには内蔵されていますので確認をしましょう。

- その他特殊な機材を用意する必要がある場合は，授業で説明があります。

- **インストールソフト**

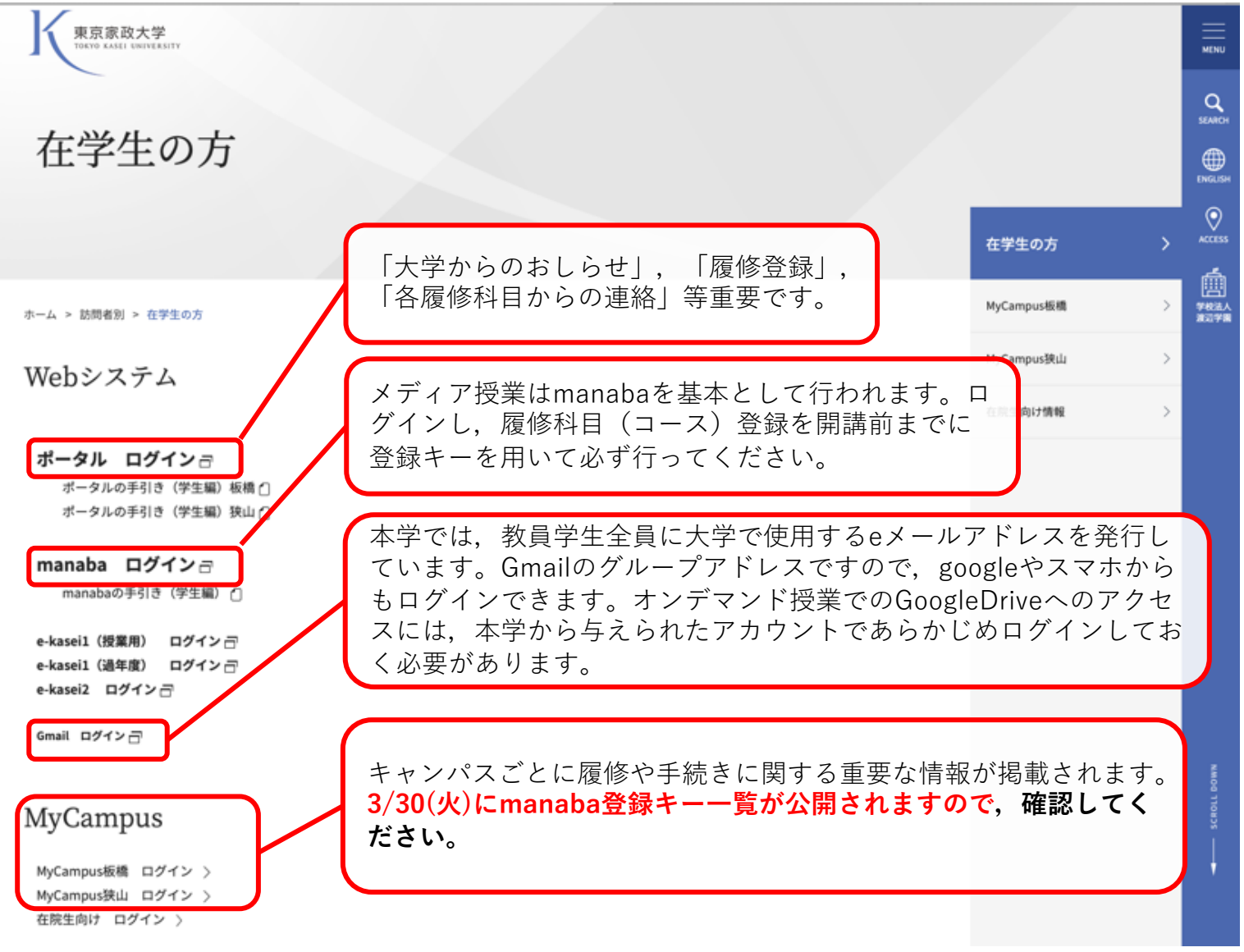
授業での配布資料は，pdf,word,powerpoint,excel等となります。PCにインストールされているソフトを確認しましょう。

リアルタイム授業は，本学ではcisco社webexを利用します。必要に応じてwebサイトよりダウンロードしてインストールしておくとよいでしょう。

6　インターネットの環境

- メディア授業受講のためのインターネット接続環境を確認しましょう。
- 講義資料のダウンロード，動画視聴のために，十分な通信量が必要となります。自宅でLAN環境，Wi-Fi環境，通信量契約内容を確認してください。
- スマートフォンのテザリング機能を利用して，PCやタブレットをインターネットに接続することも可能です。
- リアルタイム配信授業では，映像，音声データのリアルタイムでの相互通信となりますので，より安定した通信環境で受講することが望ましいです。
- YouTubeによるストリーミング視聴では，設定によって画質を下げることで，通信量軽減などの工夫も行ってください。

7　受講のためのアクセス



「大学からのおしらせ」，「履修登録」，「各履修科目からの連絡」等重要です。

メディア授業はmanabaを基本として行われます。ログインし，履修科目（コース）登録を開講前までに登録キーを用いて必ず行ってください。

本学では，教員学生全員に大学で使用するeメールアドレスを発行しています。Gmailのグループアドレスですので，googleやスマホからもログインできます。オンデマンド授業でのGoogleDriveへのアクセスには，本学から与えられたアカウントであらかじめログインしておく必要があります。

キャンパスごとに履修や手続きに関する重要な情報が掲載されます。**3/30(火)にmanaba登録キー一覧が公開されますので，確認してください。**

対面授業やメディア授業では，ポータルサイトやmanabaを利用します。

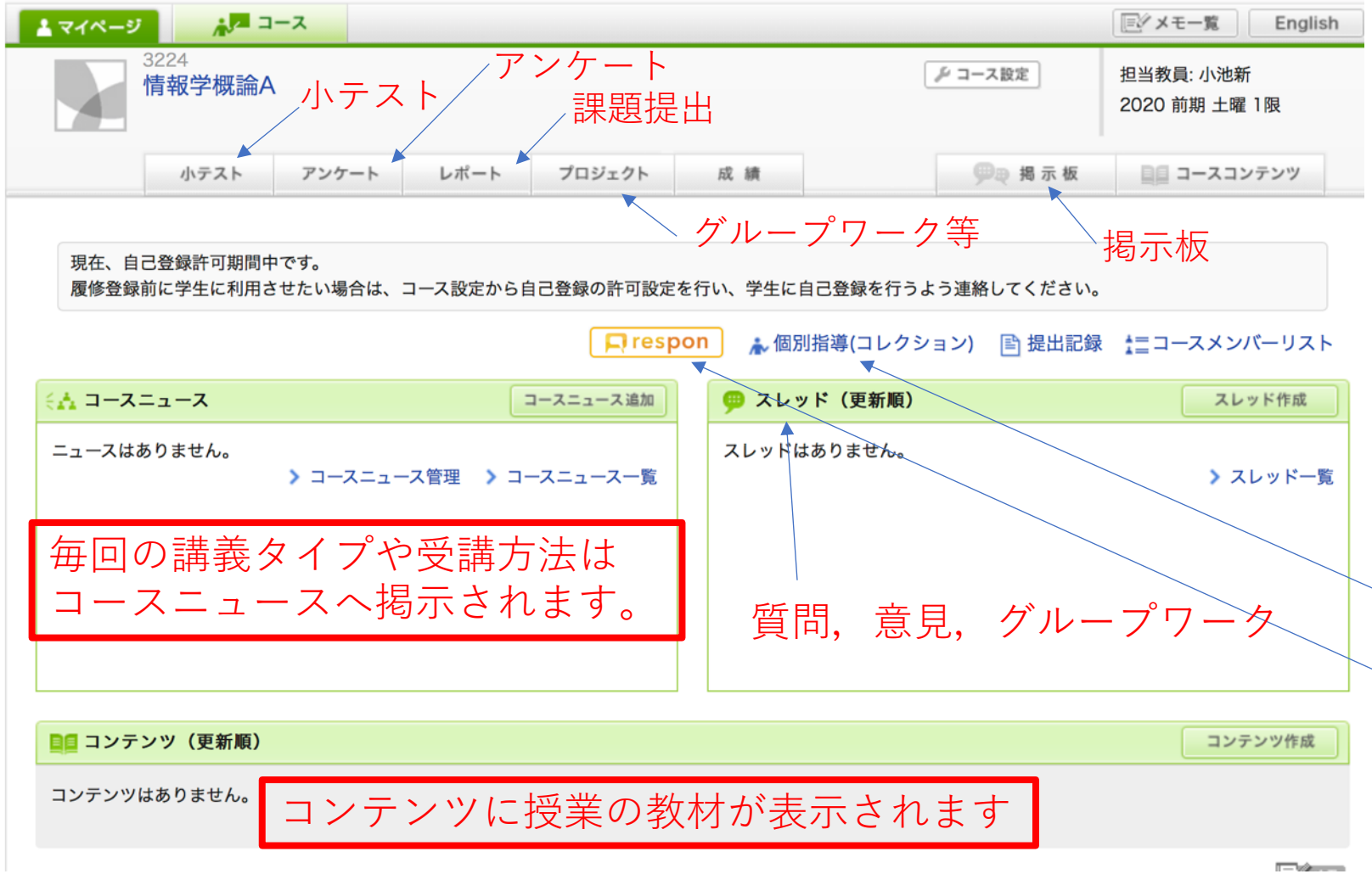
本学HPの［在学生の方］からアクセスできます。

- 履修科目について，manabaでコース登録を行い，授業開始前に授業内容を確認してください。
- **開講**

  板橋4/12(月)　　狭山4/9(金)

8　エントランス　manabaのコース画面

メディア授業では，**manaba**で授業方法や内容を連絡しますので，各自で履修する科目のコース登録を行って確認してください。



本学HP　→
Menu　→
在学生の方　→
Webシステム
manabaログイン
→
コース登録
登録キーを用いて登録

個別指導用のツール

出席を取るツール

9 出席確認方法

①オンデマンド配信タイプの授業

- manabaや動画などへのアクセスログ
- 事前・事後課題の提出
- リフレクションの提出
- 講義内容を履修者が各自まとめたノートの写真の提出など

②リアルタイム配信タイプの授業

- 上記のどれか
- respon(manabaの機能)の利用
- 授業時間内の口頭での出席確認
- チャット(Webexの機能)での出席確認
- Webexのアクセスログの利用

上記に示した方法の他に，複数の組み合わせやそれ以外での出席確認方法もありますので，各科目にて確認してください。

10　課題の提出方法

- レポート機能のコメント欄への記入
- レポート機能のファイル添付機能の利用
- 小テスト機能の利用
- プロジェクト機能の利用
- E-mailによるファイル添付の利用
- Google Driveによるファイル提出の利用

manaba course

Gmail

東京家政大学 TOKYO KASEI UNIVERSITY

Drive

Google Drive™

上記の例の他，各科目によって，様々な課題と提出方法が指示されますので，それぞれ確認してください。

11 メディア授業にあたっての心構え

① メディア授業は双方向的・主体的に

メディア授業は，教員が一方的に講義内容を発信するものではありません。学生の皆さんが，それぞれの授業に積極的に取り組めるよう，質疑応答や学生の意見の交換の機会も設定します。決して受動的にならずに，主体的に自分の意見や考察，質問などを挙げ，充実した授業を共に創っていきましょう。

- **オンデマンド配信タイプの授業**

授業配信中に質問や意見交換を実施することは困難ですので，対面授業に相当する教育効果を担保するため，授業の終了後すみやかに，質疑応答や意見交換の場を**manaba**の掲示板，個別指導コレクション機能などで行います。

- **リアルタイム配信タイプの授業**

授業の実施中に質疑応答や意見交換，チャットを行うケースや，授業の終了後に質疑応答や意見交換の場を設ける場合などがあります。

- **講義ノートを取りましょう**

メディア授業は視聴が中心となるため，受動的になりがちです。状況は違っても，対面授業と変わらず，講義ノートを取ることが，学修した内容を自分自身がまとめるために重要になります。講義の内容を理論的にまとめ，自分の考えを整理し，事後学習のために活用することで主体的な学びとなるよう努めてください。

② 学習のペースの計画を立てる

- リアルタイム授業やほか一部の授業では，時間割通りに開講されますが，それ以外の授業の課題は，自分で学修計画を立て，無理の無いペースで課題に取り組めるよう進めてください。
- 全国的なメディア授業やテレワークの影響により，通信障害が発生することも懸念されます。健康に留意しながらも，インターネットにつながりやすい時間帯（早朝など）を有効活用すると良いでしょう。
- メディア授業では，それぞれの科目によって課題の提出方法，期限が異なります。履修科目をよく確認して，「何をいつまでに行い，提出すればよいのか」，期限を守って提出できるよう学習のスケジュールを管理してください。

③ 連絡方法

- 対面授業のように，教室で質問をすることができないため，どのように質問をしたらよいか，各科目担当教員が**manaba**のコースニュース欄に明記します。
- 主には，**manaba**の個別指導コレクションを用いれば，履修者からの質問に教員が回答するなど相互のコミュニケーションを図ることができます。
- 授業によっては，E-mailでの課題提出や個別指導もあります。その際の教員への連絡は，大学から付与されているメールアドレスxxxxxxx@tokyo-kasei.ac.jpを必ず利用してください。スマートフォンに，Gmailアプリをインストールし，大学メールのアドレスとパスワードでログインすれば，今後の連絡にも活用できます。

④ 注意すべき事項

- あなた自身や，クラスメイト，そして教員のプライバシー保護に十分配慮してください。
- 授業で提示された教材や講義資料，動画，およびそれらへのアクセス方法を無断で第三者へ教えたり，SNS上に公開したり，再配布することは違法行為ですので，取り扱いには十分に注意してください。
- リアルタイムタイプ授業のアクセス方法やURL等が拡散すると，第三者によるいたずらや授業妨害を受けるなどの危険性があります。また，授業の様子を担当教員の許可なしに無断で録画することは禁止です。
- 以上の行為は著作権やプライバシーの侵害にあたります。メディア授業は，特定の授業の履修者のために限定的に様々なデータを配信していることを理解し，ルールを守って授業に参加してください。

⑤ リアルタイム授業でのエチケット

- メディア授業は主に自宅で受講することになるかと思います。その場合でも互いにマナーを守って参加しましょう。
- リアルタイム授業では，科目によっては，カメラを用いて互いに交流することもあります。カメラには，自分の姿の他，様々なものが映り込みます。特に自分の背後にあるものも写りますので，十分注意してください。小さな画面を見ていると気づかなくとも，大画面で見ると様々なものが映り込んでいることもあります。
- Cisco Webex にはバーチャル背景機能があります(システム要件があるため一部適応不可）。通信状態への負担がかかりますので、パソコンの性能があまり良くない場合は使用しないほうが良いですが，この機能を使用することも選択肢の一つです。
- 授業の形態に関わらず，学生のプライバシーには配慮をします。学生の皆さんも他者のプライバシーへ配慮するよう心掛けてください。

⑥ 健康に留意しましょう

- メディア授業では，PCやタブレット，スマホなどの画面に注視する時間がどうしても長くなります。
- 長時間の視聴は，健康被害や視力障害の他，心身へ様々な影響を与える可能性があります。
- 集中力維持・及び視力，健康面への配慮のため，定期的に休憩をしましょう。
- 動画の視聴は長くとも15分以内にして，5分程度は画面を見なくて済むような休憩や，ノートへの書き込み作業へ切替るなど自己管理を行いましょう。

12 メディア授業ツール　GoogleDrive

Drive
Google Drive™

- GoogleDriveとは，Googleが提供するオンラインストレージサービス（クラウド）であり，本学は@tokyo-kasei.ac.jpのドメイン取得によって，教職員・学生が利用できるサービスとなっています。
- manabaに提示できるデータの容量には制限があるため，大容量の資料データや動画などのファイルは，GoogleDriveへ保存し，リンクをmanabaへ貼り付けることで，履修者はそのデータにアクセスすることができます。
- 特に取り扱いに注意が必要なデータは @tokyo-kasei.ac.jpのアカウントでしか閲覧できない設定をする場合があります。この場合，GoogleもしくはGoogleDriveに大学から付与されたメールアドレスとパスワードを用いてログインした後，閲覧してください。

13 メディア授業ツール　YouTube

- YouTubeとは，Googleが提供する動画配信サービスです。オンデマンド配信タイプの授業では，YouTubeへ公開した動画のリンクをmanabaへ貼り付け提示することで，履修者はYouTube上で動画を視聴することができます。
- YouTubeはストリーミング配信されるため，視聴中に通信量がかかります。動画の内容によっては，設定→［画質］を落とすことによって通信量削減の工夫も可能です。
- メディア教育の一環として，履修者のみに限定公開される教材であること認識してください。第三者やSNSへの共有，チャンネル登録，録画，コピーは禁止とします。

14 メディア授業ツール　webex

- 本学のリアルタイム授業では，web会議システムツールとしてCisco社のwebexを採用しています。
- 参加方法　教員から指示のある次のA)，B)のどちらかで講義に参加します

A)　講義参加用URLが提示された場合　(次のどちらかの方法で参加)

- パソコンの場合：WebブラウザでURLを表示
- パソコン，スマホ共通：Webex Meetingsアプリを起動し，ミーティング情報欄へURLを入力
  初めて利用する場合はアプリを指示に従ってインストールしてください

表示される指示に従って操作(プレビュー画面で*ミーティングに参加*，*Start Meeting*などのボタンをクリック)

B)　(ミーティング番号またはセッション番号)　＋パスワードが提示された場合

- パソコンの場合：東京家政大専用サイト(kasei.webex.com)へWebブラウザ(Chrome, Firefoxなどを推奨)からアクセス
  - 「ミーティング情報」に(ミーティング番号またはセッション番号)を入力し，Enterキーを押す
  - パスワードを入力しOKボタンをクリック
  - Meetingに参加(Webex meetingの場合)，今すぐ参加(Webex Trainingの場合)をクリック
- スマホの場合：Webex Meetingsアプリで(ミーティング番号またはセッション番号)とパスワードを入力

- リアルタイム配信タイプの授業は，教員側や各学生側のインターネット接続環境やパソコンのトラブルなどが発生する可能性があります。事前の環境や使用方法を確認してください。
- 2021年度新入生については，開講前までに**接続テスト期間**を設けますので，各自参加してください。

15 リアルタイム授業時の注意

- 授業には余裕を持って10分前～5分前には接続しましょう.
- 他の授業も受講している学生もいますので，時間割通りにおこないます。万が一，開始時間を変更をする場合は，必ず教員が学生へ確認をとります。
- 静音な環境で受講してください。授業中は自分の声とともに，周りの音も他者に聞こえることがあります。普段では気にならないような音（例：ペットの鳴き声など）も，他者には気になることもあります。マイクとイヤホンがついたヘッドセットを利用すると，比較的このような周囲の雑音を排除できます。
- 授業を視聴する場合や，他者の発言を聞く場合には，必ずミュートにしてください。エコーが発生し，聞き取りにくくなります。教員が受講学生のマイクをコントロールする場合もありますので，指示に従ってください。
- インターネットの特性上，遅延が発生することがあり，音声が再生される際に乱れたりすることがあるので留意してださい。

16　著作権に関する注意事項

- 著作物の取り扱いについては，著作権法によって定められています。
- 改正著作権法35条では，大学での科目教員及び受講者が，授業の過程で使用する目的のために必要とされる公表された著作物をコピーすることや，インターネット上で送信と受信により伝達することが認められています（改正著作権法35条）（全てではありません）。ただし，著作権者の利益を不当に害することとなってはいけません。
- 学生の皆さんがレポートや課題を制作する際に，公にされた著作物を引用したい場合には，ルールの範囲内でのみ利用することが可能です（著作権法32条）。

①著作物の引用に必然性があること　②引用部分にかぎ括弧をつけるなどして，自分の文章と区分されていること　③出所が明示されていること

これらのことを遵守して，レポートや論文へ正しく引用してください。

参照

https://forum.sartras.or.jp/wp-content/uploads/unyoshishin2020.pdf

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html

17　図書館について

- 感染予防対策として，本学図書館の利用については人数，滞在時間の制限をしています。そこで図書館では，皆さんのオンラインでの学修を支援します。
- 本学図書館のHPでは，学外からアクセスできる電子リソースへのナビゲートページを作成しています。 期間限定の電子リソース及び学認（Shibboleth）を通してアクセスできる電子リソースの案内をしていますので積極的に活用してください。

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/library/post.html

板橋図書館

狭山図書館

18　Q&A・機能マニュアルについて

manabaコース「R03メディア授業支援【学生向け】」に下記情報を掲載します。

- メディア授業にあたり，学生の皆さんの様々な質問に対してのQ&A集
- GoogleDriveの利用，Webex参加方法等，ツールの利用マニュアル

情報は随時更新されますので，定期的にチェックしてください。

19　チェックリスト

メディア授業の準備は出来ましたか？以下のチェック表で確認しましょう

- ◻事前準備・環境　→ パソコン周辺機器，通信環境は確認
- ◻履修登録→履修登録を終え，My時間割で確認
- ◻manabaコース登録→登録キーを用いてmanaba でコース登録
- ◻受講のためのアクセス確認　manaba,Google,Drive,YouTube,webex
- ◻受講に必要なアプリケーション　AcrobatReader ,Word,PowerPoint Excel,webex,etc
- ◻メディア授業にあたっての心構え
- ◻著作権やプライバシーの理解
- ◻Positive thiking